

2012年6月1日

内閣総理大臣

野田佳彦 殿

全日本教職員組合

中央執行委員長 北村佳久

「大飯原発3・4号機の再稼働はしない」という 決断を求めます。

貴職は、5月30日の関係閣僚会議で、停止中の関西電力大飯原発3号機、4号機の再稼働について、立地自治体の同意を前提に「私の責任で判断する」と述べたと報じられています。全日本教職員組合は、貴職が「政治判断」の意向を強く表明されたことに抗議し、再稼働断念を強く要請します。

昨年3月11日以来、私たちは教職員組合として被災地に心を寄せ、復興支援活動に取り組んできました。被災地は、今も課題が山積しています。とりわけ、原発事故と放射能により特別の苦しみを負わされている福島の子どもたちに、安全安心な日々をとりもどす課題は大きな困難をかかえています。福島第一原発事故は、いったん事故が起きれば取り返しのつかない被害が広がる原発事故の異質さを明らかにしました。

私たちは、以下の問題が解決されないまま、関西電力大飯原発3・4号機の再稼働を認めることはできません。

第一に、東京電力福島第一原発事故ははまだ収束していません。そして、事故の原因すら解明されていません。

第二に、福島第一原発事故をふまえた安全基準が策定されていません。そのもとでのストレステストの結果をそのまま認めることはできません。

第三に、大飯原発周辺の海域と陸域の活断層が連動した場合など、過酷事故の際の放射能被害の影響範囲等の検討がなされていません。滋賀県や京都府など近隣の住民の避難経路も確定されていません。

第四に、電力需給量の算定結果について信頼性が十分とは言えません。また、原発によらない電力供給体制について、十分に検討がなされていません。

第五に、独立した原子力規制機関がいまだに確立されていません。

安全性が確保されないままの原発再稼働を認めることはできません。近隣の自治体はもちろん、日本全国から「再稼働反対」の声があがっています。貴職には、福井県の子どもたち、そして日本じゅうの子どもたちのために、「再稼働はしない」というご決断をよろしくお願いします。

以上